

令和6年度 第2回学校運営委員会

第2回目の委員会では、まず全学級の授業参観をしていただきました。子どもたちが元気に勉強している様子を見ていただきました。

授業参観後は、学校長から近況報告をさせていただきました。主体的で対話的な深い学びやICTを利活用した学習スタイルへの変化、体験的な学びの充実の必要性、学習や生活に困り感のある児童への対応、地域やPTAとの関わりなどについて説明しました。また、前期の職員の自己評価や本校の学力や体力の状況についても説明させていただきました。

委員会の最後には、学校教育についての意見交流を行いました。たくさんのご助言、励ましの言葉をいただきました。今後の学校運営に活かしていきます。



委員の皆さんからいただいた意見を紹介します

- ・対話の授業を推進していると聞いたが、授業を参観しよくできているのではないかと感じた。
- ・1年生の歌声が上手で驚いた。みんな元気がいいなと感じた。
- ・支援学級の子が答えを間違った時、先生が「98%は正解だね。」と児童に言った姿が素晴らしいと思った。肯定的な捉えをし、児童に接することが大切であると思った。
- ・中学校の教頭の立場として児童の様子を見た時、集中して学習に取り組むことができている、気持ちの切り替えができていると感じた。大麻西の子も大麻中学校の子も学力が高い傾向であるが、小学校から中学校への系統立った指導を今後も続けていく必要があると思った。
- ・スマホや動画の視聴時間に課題のある児童がいるとのことだが、「スマホを長く使用している子どもは勉強の時間が長くても学力が低い傾向がある」というデータが示されており、中学校でも生徒に伝えているところである。
- ・35人学級の体育を1人の先生で見ているのは大変だと思った。
- ・スマホやタブレットは使い方によって生産活動の充実にもつながる。児童生徒に制限をかけることも必要かもしれないけれど、正しい使い方や上手な使い方を教える視点も大切である。
- ・行政は「環境を整える」「働き方改革」などの言葉を使うが、本当に実効性のある取り組みをしているとは思えない。先生方は残業代がないと報道されている。働きやすい環境、仕事の対価に見合った賃金の整備をしてほしい。
- ・移動式クーラーにどのくらいの効果があるのか。固定のクーラー設置をしてほしい。

江別市CSのホームページは下記のリンクです。えべつ型コミュニティースクールの情報について、知りたい方はご覧になってください。

<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/kyouiku/46511.html>

尚、本校及び各学校の委員さんは、下記のリンクでご確認ください。

<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/uploaded/attachment/68985.pdf>